

## 台風第19号による影響

【目次】

- |                     |    |
|---------------------|----|
| 1. 台風第19号による出水直後の状況 | P2 |
| 2. 11月11日(月)現地調査    | P3 |
| 3. 看板の破損状況の確認結果     | P8 |

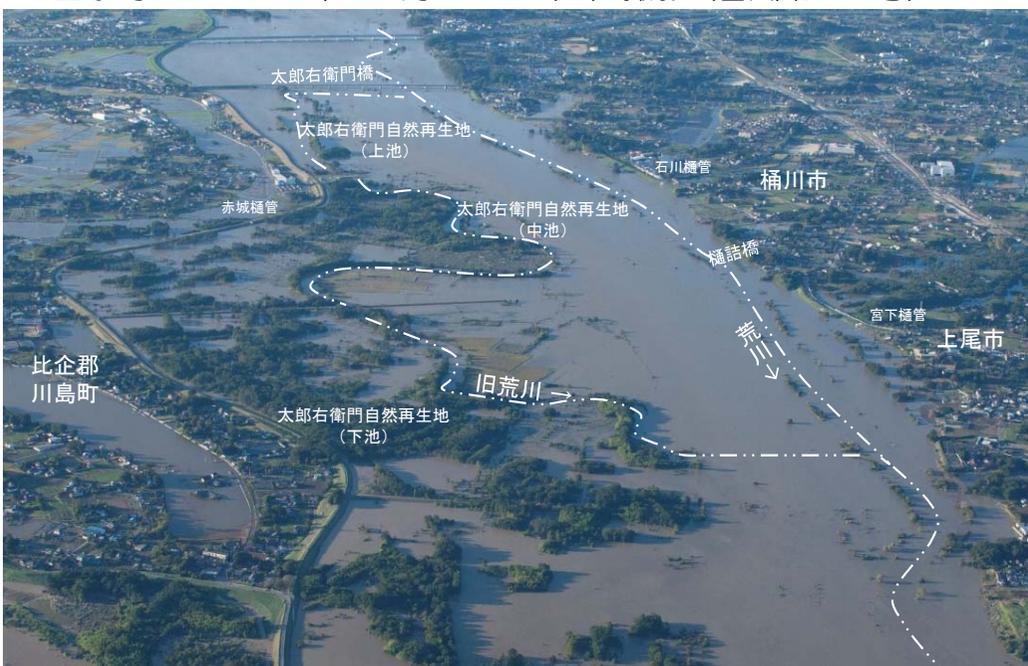
# 1. 台風第19号による出水直後の状況

●台風第19号の出水により、旧流路が全て水に浸かり、倒木や土砂の堆積が見られました。

■ 平常時 2018年8月 撮影



■ 出水時 2019年10月13日 (日) 撮影 (台風第19号)



2019年10月13日 (日) 撮影

上池 (右岸堤防から太郎右衛門橋を望む)



中池 (管理用通路入口付近)



中池 (上池の横堤から下流方向を望む)



上池旧流路の流入実績 (整備後(2009末以降))	
年度	日付
2010	11月 1日
	5月30日
2011	9月 1日
	9月22日
2012	5月 1日
	6月20日
2013	9月17日
	10月16日
2014	6月 7日
	10月 6日
2015	7月16日
	9月 9日
2016	8月22日
	8月30日
2017	9月21日
	10月22日
2018	10月 1日
	9月 9日
2019	10月12日
	10月26日

計画は1.5回/年  
実績は2.0回/年(20回/10年)

## 2. 11月11日（月）現地調査

- 浅枝会長より、同規模の洪水が毎年発生する可能性があり、今後の自然再生地のあり方を議論していく必要があるとのご意見がありました。
- このため、11月11日（月）に予定されていた第50回協議会を延期し、協議会委員による現地調査を実施しました。
- 現地調査後は出丸公民館にて第39回運営委員会を開催し、現地調査結果について議論を行いました。

### 【協議会委員からの主な意見】

- 出水後の太郎右衛門自然再生地を、地域の方々に見ていただくことも必要である。
- 出水後の景観（樹木に草本が引っかけた状況等）は、河川本来の姿としてそのまま自然の成り行きに任せるのが好ましい。  
一方で、協働・連携の中心となる中池においては、可能な限り平常時と同じ状態に戻すことが必要である。

上池（延命地蔵尊付近）



中池（つばさ北の小草花移植地）



下池（2019年度整備地）



上池（横堤）



中池（水際のベンチ）



下池（2018年度整備地）



# (1) 調査ルート（上池旧流路とモトクロス上跡地D整備地）



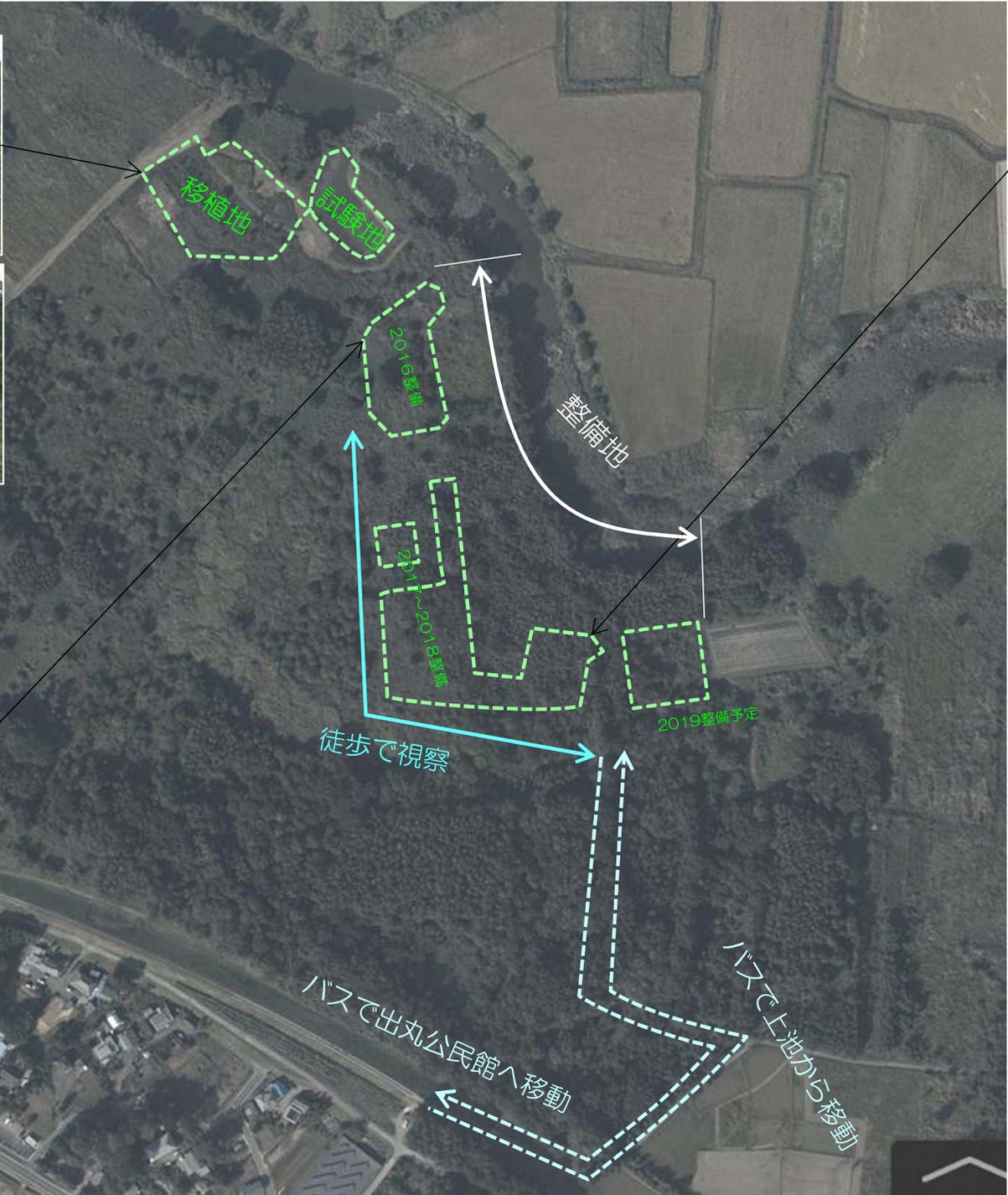
## (2) 調査ルート (中池管理用通路)



# (3) 調査ルート (上池モトクロス上跡地A整備地～旧流路整備地)



# (4) 調査ルート (下池)



50 m

航空写真は地理院地図



# 3. 看板の破損状況の確認結果

■ 指導標02 (基礎洗堀、倒伏)



■ 解説板01 (基礎洗堀、倒伏、盤面に傷あり)



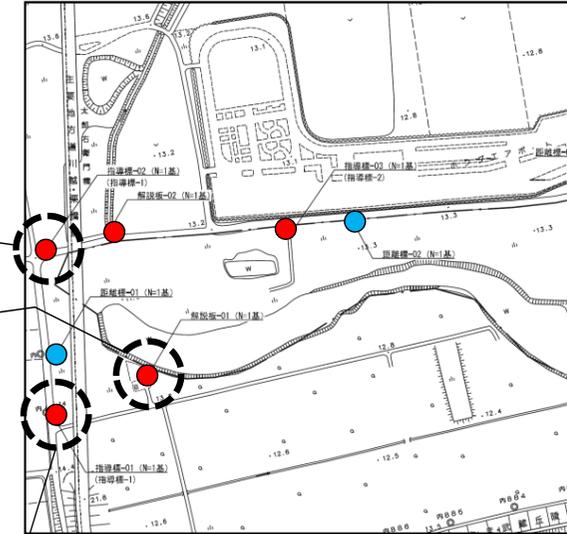
■ 指導標01 (根元洗堀、傾き、盤面に破損あり)



※付近の大木脇への移設も考えられます。  
(国有地内に設置する必要があるため詳細な位置は確認します。)

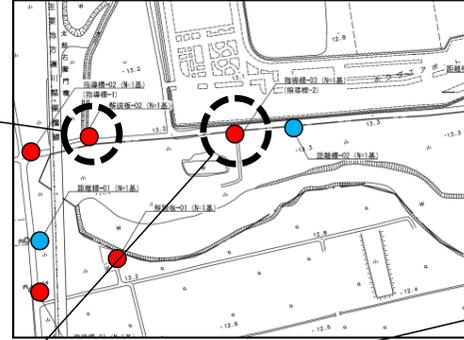


● 復旧が必要な看板  
● 損傷がない看板

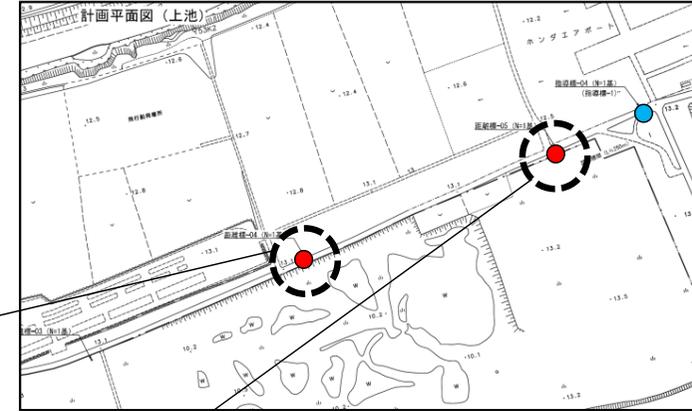


# 3. 看板の破損状況の確認結果

■ 解説板02 (傾きあり)



● 復旧が必要な看板  
● 損傷がない看板



■ 指導標03 (基礎洗堀、倒伏)



■ 距離標05 (基礎洗堀、傾きあり)



■ 距離標04 (傾きあり)

